

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和05年05月11日

計画の名称	南部町の下水道における防災・安全対策の実現														
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度 (5年間)												重点配分対象の該当		
交付対象	南部町														
計画の目標	下水道施設の計画的な維持管理を行い、安全なライフラインとして機能させる。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）			30	A	30	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R4末
1	①ストックマネジメント計画に基づく管渠点検調査実施率を0%（H30当初）から100%（R4末）に増加させる。			
	①下水道管路施設における点検調査実施率	0%	95%	100%
	点検調査実施済みの下水道管路施設延長（km）／点検調査を実施すべき下水道管路施設延長（km）			
2	②下水道施設の耐水化の早期実施にむけて耐水化計画を策定する。			
	②終末処理場における耐水化計画策定率	0%	0%	100%
	耐水化計画策定済みの終末処理場数(箇所)／耐水化計画を策定すべき終末処理場数(箇所)			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	南部町	直接	南部町	管渠（ 污水）	改築	管渠等点検調査・設計等	管渠及びマンホール点検調査 ・設計等	南部町	■	■	■	■		26		策定済	
		ストックマネジメント																		
	A07-002	下水道	一般	南部町	直接	南部町	終末処 理場	－	南部浄化センター耐水化	処理場耐水化計画策定N=1箇 所	南部町				■		4		－	
											小計						30			
												合計						30		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
南部町建設課において、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況について評価を行った。	令和5年5月
	公表の方法 南部町ホームページにおいて公表する。
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	①平成30年度から令和4年度までの5年間で管渠4,318m、MH129基の点検・調査を実施し、ストックマネジメント計画に基づく管渠点検調査実施率について0%（H30当初）から100%（R4末）を達成した。 ②南部浄化センターの耐水化計画を策定し、終末処理場における耐水化計画策定率について0%から100%を達成した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
①今後も引き続き、ストックマネジメント計画に基づく計画的かつ効率的に管渠点検調査を進め、下水道施設の計画的な維持管理を行い、安全なライフラインとして機能させていく。 ②下水道処理施設の耐水化の早期実施に向けて、耐水化計画に基づく工事を実施し、令和9年度末までに耐水化実施率100%を達成する。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	点検調査実施済みの下水道管路施設延長（km）／点検調査を実施すべき下水道管路施設延長（km）		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	耐水化計画策定済みの終末処理場数(箇所)／耐水化計画を策定すべき終末処理場数(箇所)		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	

計画の名称	南部町の下水道における防災・安全対策の実現		
計画の期間	平成30年度 ～ 令和4年度 (5年間)	交付対象	南部町

